



クイック スタート ガイド



Cisco RV160 ルータ

パッケージの内容物

- Cisco RV160ルータ
- 電源アダプタ
- クイック スタート ガイド(本書)
- ポインタ カード/RoHS
- テクニカル サポートの連絡先カード
- イーサネット ケーブル
- EU Directive 2014/53/EU コンプライアンス情報(EU SKU のみ)

はじめに

このたびは、Cisco RV160 ルータをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

RV160 ルータは信頼性の高いインターネット アクセス接続を提供するルータで、次の機能を備えています。

- 複数のセットアップ ウィザードが用意された使いやすい UI。
- 4 ポート VPN ルータ。
- IPv6 ファイアウォールのサポート。
- すぐに使用できるビジネスグレードのスモール ビジネス ネットワーク。

このガイドでは、Cisco RV160 を設置し、Web ベースのデバイス マネージャを起動する方法を説明します。

1 Cisco RV160 の設置

デバイスを過熱や損傷から守るために：

- **周囲温度**：周囲温度が 40°C (104°F) を超える場所では動作させないでください。
- **エアフロー**：デバイス周囲の十分な通気を確保してください。デバイスを壁面に取り付ける場合は、放熱用の穴が側面に向くように設置してください。
- **回路の過負荷**：電源コンセントにデバイスを追加接続することで、その回路に過負荷をかけることのないようにしてください。
- **機械的荷重**：危険な状況を避けるため、デバイスは水平で安定するように設置し、本体が滑ったりずれて動いたりしないことを確認してください。デバイスの上には何も置かないでください。過重により本体が損傷する恐れがあります。

デスクトップへの設置

デスクトップに設置する場合は、平らな表面にデバイスを設置し、4 本のゴム製の脚がしっかり着くようにします。

ルータを壁面に取り付ける際のガイドライン

ルータを壁面に取り付ける場所を決める際は、ケーブルの制限事項と壁面構造を考慮します。

- ルータは、前面パネルが上を向くように取り付けます。LEDを確認できる高さに取り付けてください。
- 電源は、床やテーブルなどの水平な表面に置いてください。電源がしっかり支えられていないと、電源アダプタ ケーブルが引っ張られてルータから抜ける場合があります。
- ルータや電源は、暖房機などの熱源の近くには置かないでください。

ルータは、中空壁や間柱に取り付けることができます。ルータを取り付けるには、次の手順に従います。

手順 1 ルータを壁に当てて、2つのマウントネジを取り付ける場所を決定します。およそ 109 mm 離して下穴を 2つあけます。

手順 2 各穴にネジを挿入し、表面とネジ山の根元との隙間を 1 ~ 1.2 mm 残しておきます。

手順 3 ルータの壁面マウントスロットをネジの上にあて、ネジが壁面マウントスロットにぴったりはまるまで、ルータを上から下にスライドさせます。



警告

不安定な取り付けを行うと、ルータの損傷やけがを招く恐れがあります。シスコは、壁面への不安定な取り付けによって生じた損傷について、いかなる責任も負いません。



警告

安全上の理由から、放熱用の穴が側面に向くようにしてください。

前面パネル

PWR	<p>オフ:電源がオフか、レスキュー モードの場合。</p> <p>緑(点灯):電源がオンで正常に動作している場合。</p> <p>緑(点滅):デバイスが起動中の場合。</p>
VPN	<p>オフ:VPN トンネルが未定義か、定義済みの VPN トンネルがすべて無効化されている場合。</p> <p>緑(点灯):少なくとも 1 つの VPN トンネルが動作している場合。</p> <p>緑(点滅):VPN トンネル経由でデータを送受信している場合。</p> <p>黄(点灯):有効化された VPN トンネルがすべて動作していない場合。</p>
DIAG	<p>オフ:システムの起動中。</p> <p>赤(遅い点滅(1Hz)):ファームウェアをアップグレード中の場合。</p> <p>赤(速い点滅(3Hz)):ファームウェアのアップグレードが失敗した場合。</p> <p>赤(点灯):アクティブなイメージとアクティブでないイメージのいずれでもシステムが起動に失敗したか、レスキュー モードの場合。</p>
LINK/ACT(WAN および LAN 1 ~ 4)	<p>オフ:イーサネット接続がない場合。</p> <p>緑(点灯):GE イーサネット リンクがオンの場合。</p> <p>緑(点滅):GE がデータを送受信している場合。</p>
GIGABIT(WAN および LAN 1 ~ 4)	<p>緑(点灯):速度が 1000 M の場合。</p> <p>オフ:速度が 1000 M ではない場合。</p>

USB	<p>オフ:USB が接続されていないか、挿入されていても認識されていない場合。</p> <p>緑(点灯):USB ストレージが認識されている場合。</p> <p>緑(点滅):ポートがデータを送受信している場合。</p> <p>黄:USB ストレージへのアクセスにエラーが発生している場合。</p>
------------	---

背面パネル

RESET:RESET ボタンには次の 2 つの機能があります。

- ユニットを再起動し、現在のコンフィギュレーションをそのまま使用する場合は、ペーパー クリップかペンの先で RESET を最低 3 秒(ただし 10 秒以下)押し続けます。
- ユニットを再起動し、工場出荷時の設定に復元する場合は、RESET ボタンを 10 秒より長く押し続けます。ルータに加えた変更は失われます。

コンソール ポート:ルータのコンソール ポートは、端末または端末エミュレーション プログラムを実行しているコンピュータとのシリアル ケーブル接続用に設計されています。

LAN:(1 ~ 4)PC、プリント サーバ、スイッチなどのローカル エリア ネットワーク デバイスをルータとリンクする RJ-45 デバイス接続。

WAN:ルータをケーブル モデムや DSL モデムなどのワイドエリア ネットワーク デバイスと接続します。

SFP ポート:Small Factor-Form Pluggable(SFP)は、SFP ポートにプラグインしてポートとネットワークをリンクするホットスワップ可能な入出力デバイスです。

POWER:デバイスの電源のオン/オフを切り替えます。

12 VDC(1.5 A):同梱の 12 VDC、1.5 A 電源アダプタにデバイスを接続する電源ポート。

側面パネル

USB:タイプ抜け目がないドライブを支えるUSBポート。注意:デバイスに同梱の電源のみを使用してください。それ以外の電源を使用すると、USB ドングルが使用できなくなる恐れがあります。

ケンジントン ロック スロット:右側面のロック スロットにケンジントン ロック装置を使用することにより、デバイスの物理的な安全を確保できます。

3

装置の接続

LAN ポートを使用して、コンフィギュレーション端末(PC)をデバイスに接続します。初期設定を実行するには、この端末がデバイスと同一の有線サブネットワークに含まれている必要があります。初期設定の一部として、デバイスのリモート管理を許可するように設定できます。

コンピュータをデバイスに接続する方法:

-
- 手順 1 ケーブル モデムやDSL モデム、コンピュータ、およびこのデバイスを含むすべての装置の電源をオフにします。
 - 手順 2 イーサネット ケーブルを使用して、ケーブル モデムか DSL モデムをこのデバイスの WAN ポートに接続します。
 - 手順 3 別のイーサネット ケーブルを、LAN(イーサネット)ポートの 1 つからコンピュータのイーサネット ポートに接続します。
 - 手順 4 WAN デバイスの電源をオンにし、接続がアクティブになるまで待機します。
 - 手順 5 電源アダプタをこのデバイスの 12 VDC ポートに接続します。



注意

このデバイスに同梱されている電源アダプタのみを使用してください。別の電源アダプタを使用すると、デバイスを損傷し、USB ドングルが使用できなくなる恐れがあります。

電源スイッチはデフォルトでオンになっています。電源アダプタが正しく接続されデバイスの起動が完了すると、前面パネルの電源ライトが緑に点灯します。

- 手順 6 アダプタのもう一方の端を電源コンセントに差し込みます。お住まいの国に合ったプラグ(同梱)を使用してください。
 - 手順 7 「セットアップ ウィザードの使用方法」の手順に従って、デバイスの設定を続行します。
-

4

セットアップ ウィザードの使用方法

セットアップ ウィザードとデバイス マネージャは、Microsoft Internet Explorer、Mozilla Firefox、Apple Safari、および Google Chrome でサポートされています。

セットアップウィザードを使用してデバイスを設定するには、次の手順を実行します。

-
- 手順 1 「装置の接続」の項の手順 3 で LAN 1 ポートに接続した PC の電源をオンにします。この PC がデバイスの DHCP クライアントとなり、192.168.1.xxx の範囲の IP アドレスを受け取ります。
 - 手順 2 Web ブラウザを起動します。
 - 手順 3 アドレスバーに、デバイスのデフォルトの IP アドレス (<https://192.168.1.1>) を入力します。サイトのセキュリティ証明書のメッセージが表示されます。Cisco RV160 は自己署名セキュリティ証明書を使用します。このメッセージが表示されるのは、デバイスがコンピュータに認識されていないためです。
 - 手順 4 [このサイトの閲覧を続行する] をクリックして続行します。サインインページが表示されます。
 - 手順 5 ユーザ名とパスワードを入力します。デフォルトのユーザ名は **cisco** です。デフォルトのパスワードは **cisco** です。パスワードは大文字と小文字を区別します。
 - 手順 6 [ログイン] をクリックします。ルータ セットアップウィザードが起動します。
 - 手順 7 画面の指示に従ってデバイスをセットアップします。ルータ セットアップウィザードにより、接続の検出と構成が実行されます。実行できない場合、インターネット接続に関する情報の入力が必要になります。ISP にこの情報をお問い合わせください。
 - 手順 8 ルータ セットアップウィザードの指示に従ってパスワードを変更するか、「管理者ユーザ名とパスワードの変更」の項の指示に従います。新しいユーザ名とパスワードを使用してデバイスにログインします。

注 パスワードを変更することをお勧めします。リモート管理などの機能を有効化するには、パスワードを変更する必要があります。

[デバイス マネージャの開始] ページが表示されます。ここには、最も一般的な設定タスクが表示されます。
 - 手順 9 ナビゲーションバーにリストされているタスクの 1 つをクリックし、設定を完了します。
 - 手順 10 設定に加えた変更すべてを保存し、デバイス マネージャからログアウトします。
-

管理者ユーザ名とパスワードの変更

デバイスの管理者ユーザ名とパスワードを変更する方法:

- 手順 1 [作業の開始] ページから [管理者パスワードの変更] を選択するか、ナビゲーションバーから [システム設定] > [ユーザ アカウント] の順に選択します。
 - 手順 2 [ローカル ユーザ メンバーシップ] リストからユーザ名を確認し、[編集] をクリックします。
 - 手順 3 [ユーザ名] を入力します。
 - 手順 4 元の [パスワード] を入力します。
 - 手順 5 新しい [パスワード] を入力します。
 - 手順 6 新しい [パスワード] を確認します。
 - 手順 7 [パスワード強度メーター] のドロップダウン リストから、グループ (**admin**、**guest**) を選択します。
 - 手順 8 [保存] をクリックします。
-

接続に関するトラブルシューティング

セットアップウィザードを使用してデバイスにアクセスできない場合、デバイスがコンピュータから接続不能な状態になっている可能性があります。Windows コンピュータの場合、**ping** を使用してネットワーク接続をテストすることができます。

- 手順 1 [スタート]> [ファイル名を指定して実行] を選択し、「**cmd**」と入力して、コマンドウィンドウを開きます。
- 手順 2 コマンドウィンドウ プロンプトで **ping** とデバイス IP アドレスを入力します。たとえば、「**ping 192.168.1.1**」(デバイスのデフォルトのスタティック IP アドレス) と入力します。

デバイスに接続可能な場合、次のような応答があります。

```
Pinging 192.168.1.1 with 32 bytes of data:  
Reply from 192.168.1.1: bytes=32 time<1ms TTL=128
```

デバイスに接続できない場合、次のような応答があります。

```
Pinging 192.168.1.1 with 32 bytes of data:  
Request timed out.
```

考えられる原因と解決策

イーサネットの接続不良:

LED の表示が正常であるかどうかを確認します。イーサネットケーブルのコネクタがデバイスとコンピュータにしっかりと接続されていることを確認します。

IP アドレスが正しくないか競合している:

デバイスで使用している IP アドレスが正しいことを確認します。

別のデバイスがこのデバイスと同じ IP アドレスを使用していないことを確認します。

IP ルートがない:

デバイスとコンピュータの IP サブネットワークが異なる場合は、リモートアクセスを有効にする必要があります。また、2 つのサブネットワーク間でパケットをルーティングするために、少なくとも 1 つのルータがネットワーク上に必要です。

アクセス時間が異常に長い:

新たに接続を追加した場合、その影響を受けるインターフェイスと LAN が動作するようになるまで 30 ~ 60 秒かかります。

5

関連情報

サポート

シスコ サポート コミュニティ

www.cisco.com/go/smallbizsupport

シスコ ファームウェアのダウンロード

www.cisco.com/go/smallbizfirmware

リンクを選択して、シスコ製品のファームウェアをダウンロードできます。ログインは不要です。

シスコ パートナー センtral (パートナー ログインが必要です)

<http://www.cisco.com/c/en/us/partners.html>

製品マニュアル

Cisco RV160

www.cisco.com/go/RV160

EU Lot 26 関連のテスト結果については、以下を参照してください: www.cisco.com/go/eu-lot26-results

米国本社

Cisco Systems, Inc.
www.cisco.com



シスコは世界各国 200 箇所以上にオフィスを開設しています。
各オフィスの住所、電話番号、ファクス番号は当社の Web サイト
(www.cisco.com/go/offices) をご覧ください。

78-100994-01

Cisco およびシスコ ロゴは、シスコまたはその関連会社の米国およびその他の国における商標または登録商標です。シスコの商標の一覧については、http://www.cisco.com/web/JP/trademark_statement.html をご覧ください。記載されているサードパーティの商標は、それぞれの所有者に帰属します。「パートナー」または「partner」という用語の使用はシスコと他社との間のパートナーシップ関係を意味するものではありません。(1110R)

© 2018 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.